【第一〇三号　二〇一三年　七月　五日発行】

福音の園だより

平成十八年度「高年齢者雇用優良事業所　協会会長賞」受賞
TBSラジオ『メイコのいきいきモーニング』取材放送

グループホーム・デイサービス介護保険事業者指定
３５０－００１６　埼玉県川越市木野目一八七八番地一
特定非営利活動法人　**福音の園・埼玉　事務局**
☎０４９－２３０－１１１１（FAX２３０－１１１２）

福音の園®、Gospelgarden®は　有限会社シャロンの商標

情報公開は「介護記録の開示」から

「何かあったんですか？」

グループホーム　福音の園・川越　ホーム長　杉澤　卓巳

『ご本人様の個人ファイルに綴じ込まれています「ケアプラン表」他もご覧下さり、ご署名いただきます様お知らせいたします』と、折にふれて介護記録の開示案内を表明している。あるご家族は来訪後「いつもお世話になっています」と言うが早いか「ラック」からご本人様「介護記録」を取り出し、自室へ持参される。

一ヶ月半ぶりに認知症棟入所中の母訪問した折の事（本年六月二九日）。気になっていた体重について尋ねた。別室詰所から本人ファイルを持参下さり「３０kgです」と説明を受けた。妻が「介護記録を見せてもらっていいですか」と了解を求め、日常記録ページを読んだ。「夜間も大変みたいですね：」と話した。そこへ別の介護職員さんが寄って来られてひと言「何かあったんですか？」。怪訝そうな顔付きの言葉が印象的だった。

「介護記録の普段開示」システムのない大型施設にとって、入所者家族（とりわけグループホーム管理者の長男夫婦）が、同僚の職員と介護記録ページを指差しながらの会話場面は、どう見ても「アラ探しの末、追求している」と早合点しての言動だと推察できたからでした。

理念・方針説明

「家族の立場」と「施設職員の立場」で

グループホーム　福音の園・川越　ホーム長　杉澤　卓巳

「第９回ファミリークリスマス会」にようこそおいで下さいました。ご家族の皆様を心から歓迎申し上げます。例年になく感慨深いものになりました。園便りで触れましたように、田舎の母がデイサービス利用から、短期入所（ショートステイ）利用を経て、この一月から介護施設へ入所しました。「老親を施設へ預ける家族の立場」を初めて実体験。その結果、「家族の視点」と「施設職員の視点」の両方向から客観視できるお陰で**「視界鮮明」**になりました。

先月、日帰りで８７歳の父が暮らす実家へ行き、帰路、８６歳母が暮らす「認知症棟」を訪問しました。体重が２７kgと激ヤセし「アウシュヴィッツ収容所から生還した人たち」を連想してしまうほどの容姿にびっくり。「家族の立場」から、あれこれと質問しました。すると「糖尿病で、食事量は１日一四〇〇キロカロリーです」と栄養士さんの説明を受けました。もうそれ以上、言葉を発することは出来ませんでした。何故ならば、「施設職員の立場」を体験済。大型施設であり、大勢の入所者を限られた人員配置の職員で世話している実態を熟知していたからです。

※　※　※　※　※　※

園便りで「ご家族の声」を紹介いたしました。**『肌の色艶も良くなり、顔もふっくらとし、何よりも表情が明るく、面会の度にいい笑顔を見せてくれます』**（第九五号）に接して、「福音の園に入居されている方々は幸せだ！」と心底思いました。「自分が勤める施設を自画自賛してどうするんだ」という声が聞こえてまいります。確かに、施設職員の立場なら厳に慎むべきです。けれども、一歩「家族の立場」に立ちますときに、おのずから視点が変わるからです。

「介護の切り札」としてのグループホーム

かつて特別養護老人ホームに勤めていて、大型施設特有な「かゆい所に手が届かない」（十分行き届いたお世話ができない）ために、後ろ髪引かれる思いでいた。そうした中で「グループホームの管理者に」と要請され、**「施設介護の切り札としてのグループホーム」**だと安堵したことを、昨日のように記憶しています。

ご家族から「痩せたわネ！」と言われたら、早速申し送りし「連携協働」。時間を掛けて、口へ運んで残さず召し上がっていただくようにしております。例え、一般のグループホームで云う「グループホーム入居レベルを超えた全身状態になった」としても**「最期まで生き甲斐を支え続ける」という理念・方針**の下で、最後までお世話させていただきます。これを開園当初より貫き通して「九回目のクリスマス会」を迎えることができました。８年間を振り返り、「老親を施設へ預ける家族の立場」に立つ一人となった今にして、やっぱり「福音の園に入居されている方々は幸せだ！」と心底そう思えたのでした。（後略）。

註・昨年十二月二四日「第９回ファミリークリスマス会」で述べたものを掲載しました）

お知らせ

第１８回「ボランティア体験プログラム」
（川越市社協主催・７月２２日～８月３０日迄）**歓迎受け入れ**

来訪歓迎

東京基督教大学・准教授　〇〇〇〇様（印西市）